

KOGA IDOL

今月の古河っ子

いいこが育つ古河



讃岐逞翔 くん
(平成28年10月生まれ・下大野)

いつも元気すぎる逞翔くん。これからも健康で逞しく育ててね♥
(父：優汰、母：千里)



殿塚逸人 くん
(平成30年3月生まれ・下大野)

よーし！ たくさん食べるぞっ！
(父：邦倫、母：八重子)



八千代結泉 ちゃん
(平成30年1月生まれ・下大野)

いつも元気な結泉ちゃん。お兄ちゃんと仲良くたくさん遊ぼうね♥
(父：政義、母：由加里)

お子さんの写真を募集中！ <対象> 0~3歳の市内在住のお子さん <応募方法> メール・電話で受付中。メールのタイトルを「今月の古河っ子応募」とし、本文に「お子さんの氏名(ふりがな)・生年月日・父母の氏名・住所・電話番号」を明記し、city.pr@city.ibaraki-koga.lg.jp(☎シティブロモーション課)へ申し込みください♪



わたしの夢

将来について

阿久津結伊さん 三和中学校3年生

私は、将来「ものづくり」にかかわる仕事をしたいと思っています。幼い頃から、折り紙や工作などをすることが好きだったということもありますが、母がミシンで私の服や人形を作ってくれた時、とてもうれしかった記憶があるからです。

私もいつか、人を笑顔にする「ものづくり」ができる大人になりたい、その目標に向かって、日々努力を重ねていきたいと思っています。



ふるさと日記

故郷への思いを旋律に乗せて

田窪寛之 さん(37歳)

アメリカのボストンにあるパークリー音楽大学でジャズを学び、現在ジャズピアニストとして活動している田窪さんからメッセージをいただきました。

ジャズピアノを通して、音楽の楽しさや心地良さ、故郷への思いを表現する田窪さんの旋律には、懐かしさや優しさを感じます。4月6日には、古河市でジャズライブを行う予定です。詳細はQRコードからご覧ください。



私は東京の病院で生まれ、その後すぐに古河に引っ越し、高校時代まで古河で過ごしました。幼稚園児の頃、兄のクラシックピアノのレッスンに付いて行った時に、ピアノに興味を持ちました。テレビから流れてくる音楽や家で流れていた音楽を耳で聞いて勘で弾いてみたり、知ってる曲に好き勝手な伴奏を付けて、遊び感覚で弾いたりすることが大好きでした。そのうち、父が聴いていたジャズに興味を持ち、まね事でジャズピアノを始めたことで、高校の頃にはジャズにのめり込んでいきました。その後、いろいろな人との出会いがありアメリカ留学に至ります。アメリカでの生活はとても楽しかったのですが、日本が恋しくなる事もよくありました。また、アメリカ発祥の音楽を日本人の自分が学んでいる意味を考え、悩んだこともありました。



古河に帰る時、栗橋駅を過ぎて大きな利根川が見えると、「ああ古河に帰って来た」と、すごくしっくり来るものがあるのです。子供の頃自転車で行った渡良瀬川の河川敷や、JR古河駅西口の石畳み、住宅地とその合間にある田んぼなど、離れた地から思いをはせる日本の風景は、それまで過ごしてきた古河の何気ない風景でした。東京に住んでいる現在も、古河の風景や時間の流れの中で育った事が自分のアイデンティティーになっていると強く感じます。

ところで、ジャズにはきちんとした楽譜は無く、メロディーの概要が書いてある短い楽譜を基にメロディーを崩したりアドリブで演奏します。内容も長さも演奏者が自由に決めることができ、これを共演者と共に展開していくのですが、自由な演奏表現にはその人の性格が現れます。無鉄砲、マイペース、天真らんまん、勤勉、頑固、繊細、目立ちたがり屋等、本人の意思とは関係なく、その人の本質が音に出してしまうのです。ジャズはアメリカで生まれた音楽ですが、今や世界中で演奏され、国ごとの特色、いわば国民性が現れています。僕の音楽はまだ道半ばですが、自分の感性を育んだものに、間違いなく故郷の古河の風景があります。